雄岳 Odake

山の地形や自然そのものを楽しめる雄岳。
山頂までには多くのルートがあり、
それぞれの違いが楽しめます。
雄岳へは電車のご利用が便利です。
行きと帰りでルートを変えて、
広範囲の散策を楽しむことができます。

❶ 出逢いの広場 Lunch

銀峰から山頂までの、一段高台になっている広場。長く白いベンチが並び、お弁当を広げたり休憩するのに最適。

雄岳へのルートの中でも眺めが良く、大阪平野が一望できる眺望スポットとなっています。

❷ 六合目 Lunch

二上山駅と二上神社口駅の分岐を二上山駅の方に進み、ベンチが並ぶ山道を少し下ると六合目。目の前が開け、市街地から若草山まで見渡せるスポット。春はスミレの花が群生しています。

❸ 葛木二上神社
（かつらぎふたかみじんじゃ）

山麓の葛木倭文坐天羽雷命神社に相殿神として大国魂命が祀られており、元は一体の神社であったと考えられています。後世に社殿を山頂に造営したとも伝えられていますが、沿革は定かではなく、諸説あるようです。

❹ 大津皇子の墓
（おおつのみこのはか）

天武天皇の第３皇子として生まれるが、あまりに勇敢で聡明なため24歳で謀反の罪をきせられ死罪となり、この地に葬られたと言われています。

❺ 祐泉寺（ゆうせんじ）

天台宗の寺。静かな佇まいと、特に紅葉の季節には、赤く染まった見事な紅葉と清らかな水のせせらぎに、隠れた心癒されるスポットとなっています。

❻ 傘堂【県指定有形民俗文化財】
（かさどう）

四角い一本柱を中心に立て、その上に本瓦葺の方形造の屋根がのる形が唐傘に似ていることから、傘堂と呼ばれています。郡山藩主本多政勝候の菩提をとむらう影堂として延宝２年に建立されたものです。

❼ 當麻寺（たいまでら）

681年に金堂が創建され、以後、講堂・千手堂・東西両塔などの諸堂宇と、中院をはじめとする塔頭寺院が順次完成していきました。中将姫の伝説や貴重な文化財・寺宝が伝わり、多くの参詣者が訪れています。

ふたつでひとつ、でも楽しみ方は無限大!

らくだの背のような美しい姿でそびえる名峰、二上山。雄岳と雌岳ふたつの山頂を持つこの山はかつて「ふたかみやま」と呼ばれ、万葉の昔から親しまれてきました。奈良県葛城市に位置する雄岳からは、奈良盆地、大阪平野を一望できるスポットがあり、多くの登山客が訪れ、絶好のハイキングコースになっています。山頂には、若くして謀反の罪をきせられ死罪になったと伝えられる大津皇子（おおつのみこ）の墓や葛木二上神社があり、厳かな佇まいを感じさせます。大阪府の太子町側の雌岳には鹿谷寺跡（ろくたんじあと）をはじめとする史跡が点在し、万葉集で歌われたアセビや萩、あじさいや椿などの花々も多く、歴史やいにしえの人の心に触れながら四季折々の自然を満喫できるスポットが山頂まで続いています。また、二上山はかつて火山であったといわれ、約2,000万年前には噴火活動をしており、石器の材料になったサヌカイト、石棺や礎石に利用された凝灰岩が採取され、考古学的にも重要な位置をしめています。

奈良県側から見た二上山

大阪府側から見た二上山

見て方もふたつ

■標　高　雄岳 517m、雌岳 474 m
■所在地　雄岳：奈良県葛城市
　　雌岳：大阪府南河内郡太子町
■山　系　金剛山地

どんな服装で登ればいい？持ち物は？

二上山は初心者でも気軽に登れる山。
動きやすくて体温を調節できる服装で!

みんなの手で山の自然を守るイベント

毎年４月23日は、楽しみながら山の自然を守る「岳のぼり」（だけのぼり）イベントが開催されています。その歴史は古く、昔は山頂でごちそうを食べながら新緑を楽しむ行事でしたが、今では清掃しながら登山を楽しみ、山頂では抽選会などが行われ、地域の人々で賑わう一日となっています。

主催：二上山美化促進協議会
＊詳細はお問い合わせください。